



®環境省

エコアクション21

認証番号 0003866

Vol. 15

環境経営レポート

2022年度



時代とともに 街とともに

TATEYOSI
CORPORATION
株式会社 建吉組

対象期間 : 2022年4月～2023年3月

発行日 : 2023年7月28日

加藤神社様でご創建150年並びに城内再遷宮60年記念事業の第一期工事として参集所の建替え工事を実施しました。
外観は熊本城の景観に配慮し、白色を基調としたデザインとなっており、内外装材には、木材を使用しています。



＜参集所 竣工祭の様子＞



第二期工事の社務所は、2階に熊本城を眺めながら結婚式を行える大ホールを計画されております。
使用する木材の一部には、伊勢神宮の式年遷宮御用材等を奉納されている岐阜県の加子母(かしも)森林組合様からのご奉納材として『東濃ひのき』を使用する予定です。

＜第二期工事 社務所外観パース＞

SDGs 該当項目



車椅子の方が利用しやすい様スロープを設置しました。



建築材料の一部に木材を利用し、環境への配慮を行っています。



令和5年5月吉日

宗教法人 加藤神社
代表役員宮司 湯田 崇弘 様

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年も当財団に多額のご寄付を賜りまして誠に有り難うございました。私共の環境保全活動をご理解頂き、このような心からのご支援が大きな礎となります。これからも、水資源愛護と緑化推進および文化振興に尽力してまいり所存でございますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

本来ならばお目にかかり、御礼申し上げるべきところではございますが、まずは取り急ぎ書中をもって御礼申し上げます。

敬具

毎年、ありがとうございます

公益財団法人
肥後の水とみどりの愛護基金
理事長 甲斐隆博

加藤神社様の取組み

加藤神社様では、休耕田を神田として耕し加藤神社子供会で田植えを行う活動をされています。
また、毎年肥後の水とみどりの愛護基金に寄付を行っておられます。

表紙建物	・・・	加藤神社 参集所	延床面積	・・・	112.00㎡
設計	・・・	産紘設計・大森創太郎建築事務所・建吉組JV	構造	・・・	鉄骨造
竣工	・・・	令和4年11月15日			

1.事業概要	1
2.組織概要・対象範囲	2
3.課題とチャンス	2
4.環境経営方針	3
5.環境活動の実施体制（2022度・2023年度）	4
6.環境への負荷実績・環境経営目標	5～7
7.2022年度環境経営計画の取組結果と評価	8
7-1.2023年度環境経営計画の取組内容	9
8.環境法規制遵守チェックリスト	10
9.建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無	10
10.G E Oパワーシステム	11
11.年間行事（2022.4～2023.3）	12～15
12.S D G s の取組み	15～16
13.会社の取組み	17～20
14.2023年度の各部目標	21
15.代表者による全体評価と見直しの結果	22

1. 事業概要

- 商号 株式会社 建吉組
- 代表者 代表取締役 笹原 健嗣
- 所在地 本 社 熊本県熊本市中央区坪井6丁目38番15号
福岡支店 福岡県福岡市南区塩原3-26-18-704
室園倉庫 熊本県熊本市北区室園町20-14
合志倉庫 熊本県合志市野々島4420番3
- 創業 大正 8 年 5 月 1 日
- 創立 昭和 19 年 4 月 19 日
- 事業内容 建設工事の企画・設計及び監理、建築工事の施工
不動産の賃貸及び所有管理
- 資本金 1 億円
- 完工高 33億円(令和4年度)
- 社員数 56名
- 許可 建設業許可 国土交通大臣（特-4）第853号
- 登録 一級建築士事務所登録 熊本県知事 第100号
- 環境統括管理者 山田 博明
- 環境管理担当者 竹内 拓矢
- 連絡先 TEL 096-343-1111 FAX 096-345-6711
- U R L <https://www.tateyosi.co.jp>
- 認証登録範囲

事業活動	特定建設業(建築工事業、大工工事業、左官工事業、石工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、建具工事業 解体工事業)
対象事業所	本社、福岡支店、室園倉庫、合志倉庫
認証範囲	全組織・全活動



2. 組織概要・対象範囲



3. 課題とチャンス

	課 題	チャンス	SDGs、ESG
外部	・ 同業他社との価格競争 ・ 世界情勢の変化による資材の高騰と納入遅延 ・ 社会保険未加入業者問題 ・ 協力業者の高齢化・多国籍化、事業継承 ・ 人手不足 ・ 気候変動と自然災害の増加	・ 自社の技術力の発信 ・ 顧客のニーズと期待に迅速・的確に対応 ・ 社会的な環境配慮の高まり ・ ビジネスパートナーによる受注拡大 ・ 災害リスクの管理	・ 環境配慮設計の推進 ・ 脱炭素の推進 ・ 確かな品質の追求 ・ ダイバーシティの推進 ・ ブライト企業、健康経営優良法人の継続 ・ 協力業者育成支援 ・ 事業継続力強化計画認定の継続
内部	・ 設計施工の提案力・特命受注率の向上 ・ 若手社員の定着率、育成 ・ 技術(ノウハウ)の継承 ・ 定期点検の実施 ・ 健康診断後の二次検診受診率100%	・ デジタル化の推進 ・ 現場見学会の開催 ・ 技術(ノウハウ)による品質力の向上 ・ 生産性向上による利益率向上 ・ 働き方改革の推進 ・ 個人の健康宣言による健康意識向上	KPI ・ BIM、デジタルモックアップ等の提案によるお客様満足度の向上 ・ 技術系女性社員比率の向上 ・ 4週6休現場実施率向上 ・ メンター制度継続 ・ 協力会青年部会での事業継承研修

4. 環境経営方針

株式会社建吉組は地域環境の保全とその継承の重要性を認識し、建設業としての事業活動を通して、環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します。

次の環境経営方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地域の環境保全に貢献する企業を目指します。

1. 当社の業務運営に関わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社に関連する環境関連法規制などの要求事項を遵守します。
3. 顧客に対して環境に配慮した製品を提案し省エネに配慮した設計に努めます。
4. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目を環境経営重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 産業廃棄物排出量の削減
 - (3) 総排水量の削減
 - (4) グリーン購入
 - (5) 資源の節約
 - (6) 地域貢献
 - (7) 化学物質の適正管理
 - (8) 経営における課題と機会を踏まえる
5. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、環境経営方針を全従業員及び協力会社に周知し社外にも公開します。

上記の方針達成の為に目標を設定し定期的に見直し環境活動を推進します。

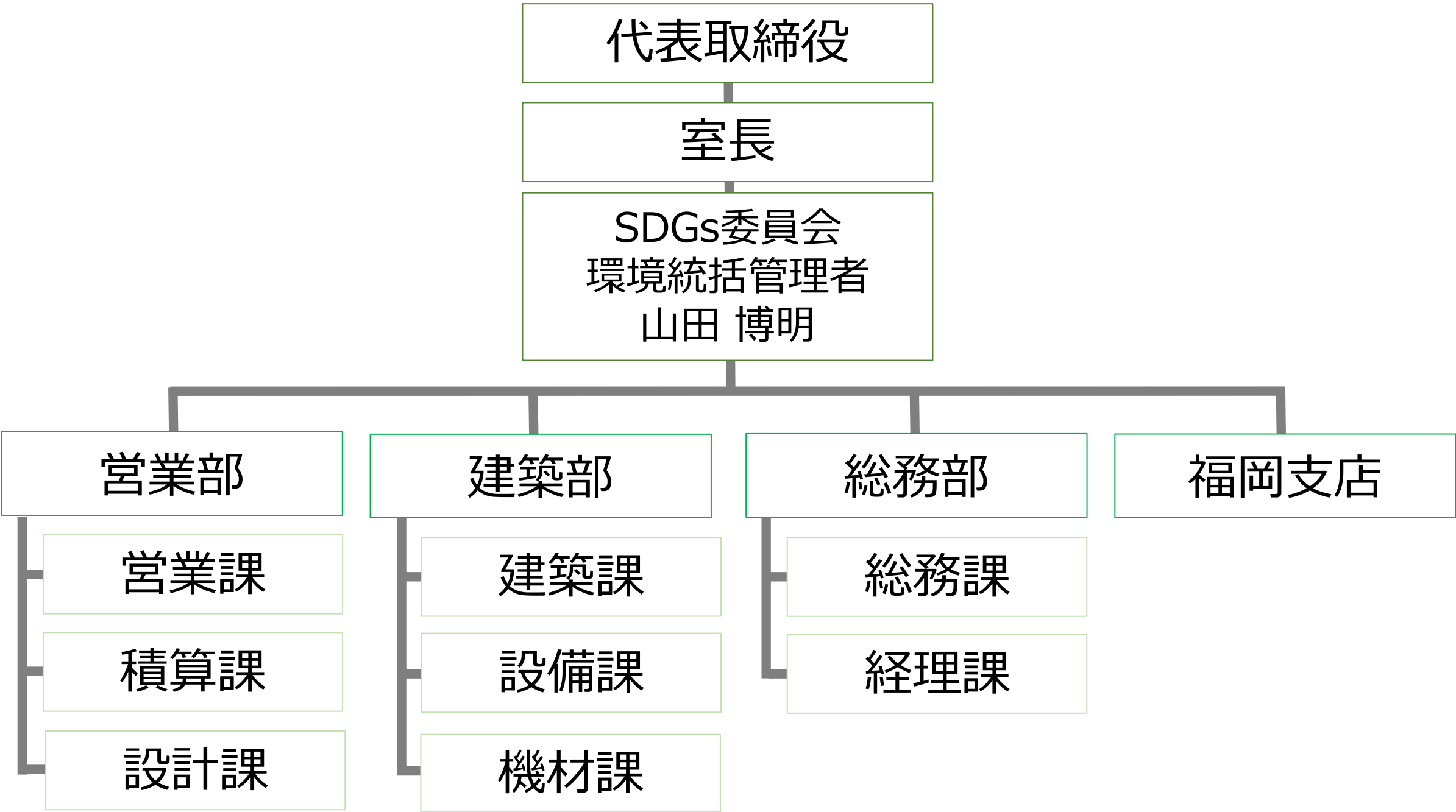
2008年6月1日 制定
2020年7月1日 改訂

株式会社 建 吉 組

代表取締役 笹原 健嗣



5 . 環境活動の実施体制 - 2022年度・2023年度 -



順 位	主な責任と権限
代表者（社長）	環境経営方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境統括管理者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境活動への取組を適切に実行するための資源（人・物・金）の承認
環境統括管理者	代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境経営計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規のとりまとめと評価及び環境経営レポートの確認と公表
環境管理担当者（事務局）	環境経営における事務局としての環境統括管理者の補佐 環境活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 内部監査の実施
SDGs委員会	環境経営の事務所・現場における記録と事務局への報告 社内におけるSDGs活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告 環境関連法規の取りまとめ及び環境経営レポートの作成、環境統括管理者への報告
社 員	環境経営方針、環境目標に沿った環境活動の展開 SDGs活動における改善点の提言

6. 環境への負荷実績・環境経営目標

事務所

CO2総排出量・電力・ガソリン他

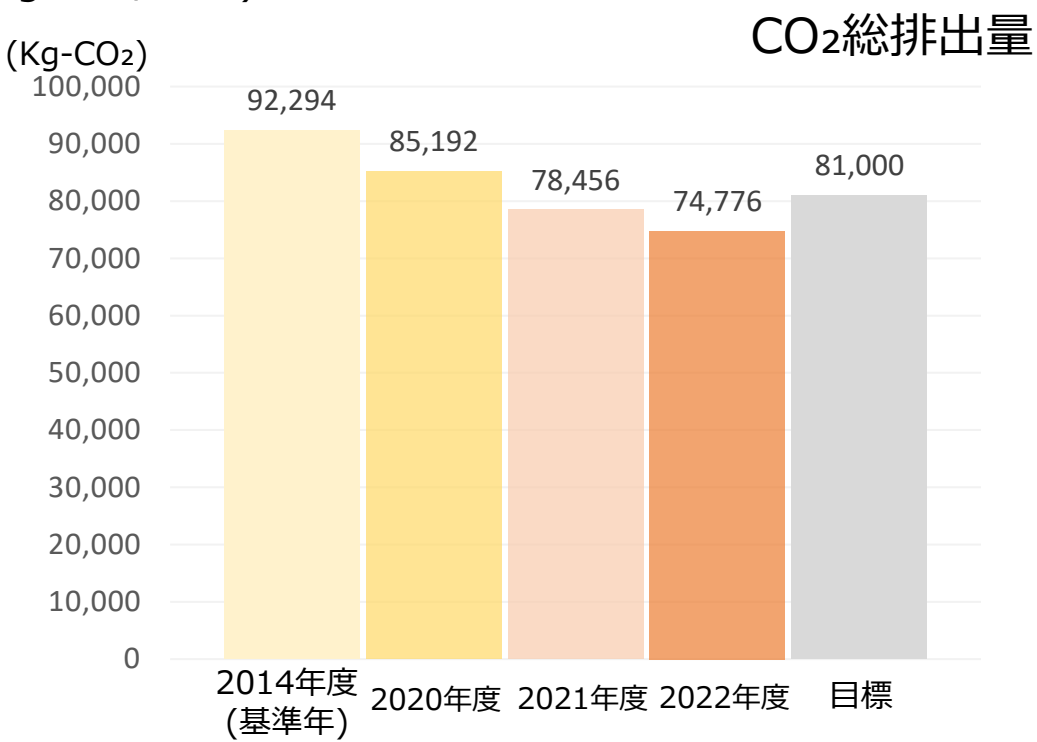
評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2014年度 (基準年)	2021 年度	2022年度					2023年度
	実績	実績	目標	実績	前年比	達成度	評価	目標
CO2 総排出量※	92,294 kg-CO2	78,456 kg-CO2	81,000 kg-CO2	74,776 kg-CO2	-4%	100%	A	80,500 kg-CO2
ガソリン	11,258 ℓ	6,905 ℓ	7,000 ℓ	6,796 ℓ	-1%	100%	A	7,000 ℓ
軽油	8,008 ℓ	8,885 ℓ	8,000 ℓ	7,839 ℓ	-11%	100%	A	8,000 ℓ
灯油	94 ℓ	40 ℓ	40 ℓ	0 ℓ	—	—	—	40 ℓ
電力	72,814 kWh	63,241 kWh	64,000 kWh	62,298 kWh	-1%	100%	A	63,900 kWh

※CO2総排出量 … ガソリン・軽油・灯油・電力の各CO2排出量の合計

※電力のCO2排出量は2014年度九州電力(株)調整後排出係数(0.617kg-CO2/kWh)にて計算。基準年度も同係数に換算し計算。

中期目標			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
CO2 総排出量	80,000 kg-CO2	79,500 kg-CO2	79,000 kg-CO2
ガソリン	7,000 ℓ	7,000 ℓ	7,000 ℓ
軽油	8,000 ℓ	8,000 ℓ	8,000 ℓ
灯油	40 ℓ	40 ℓ	40 ℓ
電力	63,800 kWh	63,700 kWh	63,600 kWh



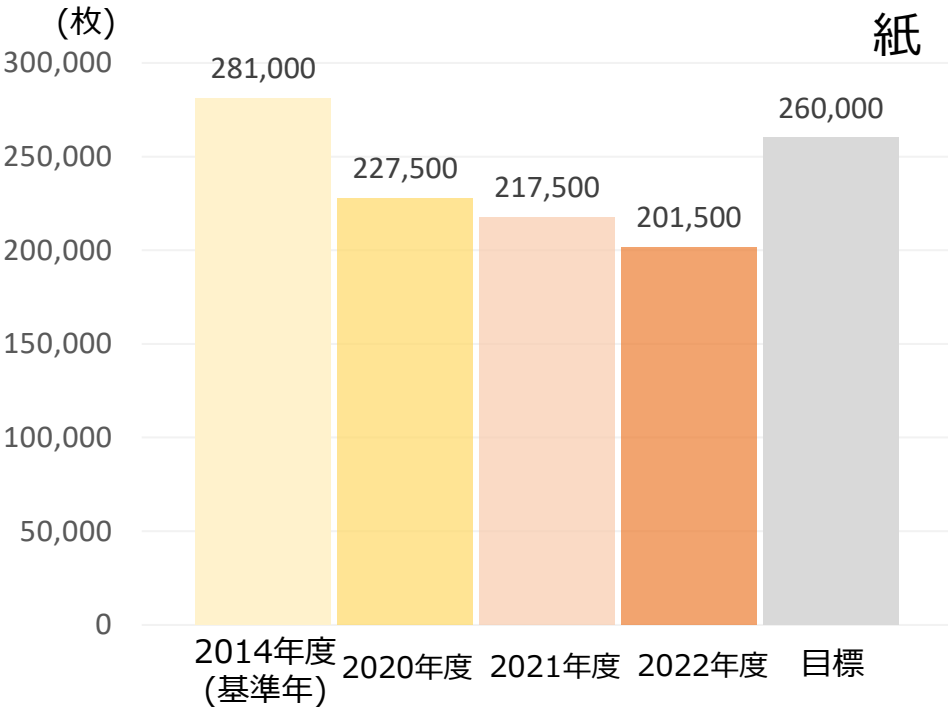
水・紙・地域貢献・グリーン購入

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2014年度 (基準年)	2021年度	2022年度					2023年度
	実績	実績	目標	実績	前年比	達成度	評価	目標
水資源	88m ³	71m ³	70m ³	56m ³	-21%	100%	A	70m ³
紙	281,000枚	217,500枚	230,00枚	201,500枚	-7%	100%	A	225,00枚
地域貢献	6回	7回	7回	7回	±0%	100%	A	7回
グリーン購入※	60.5%	48.4%	60%以上	45%	+7%	75%	B	60%以上

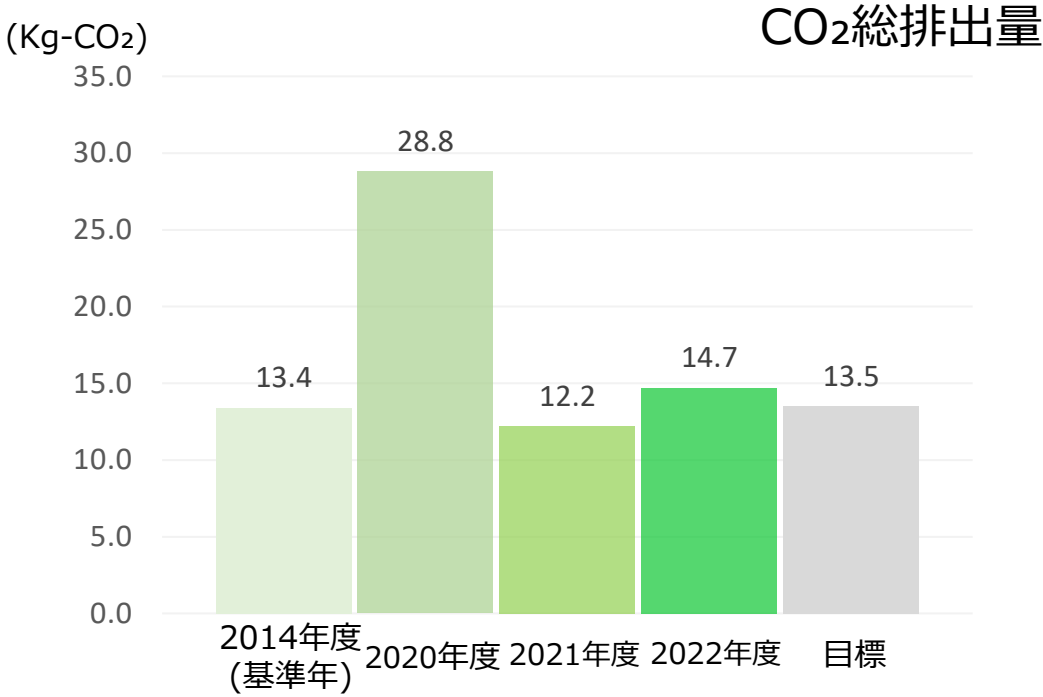
※(グリーン購入)=(グリーン購入法対象数)÷(事務用品購入総数)×100にて算出

中期目標			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
水資源	70m ³	70m ³	70m ³
紙	220,000 枚	215,000 枚	210,000 枚
地域貢献	7回	7回	7回
グリーン購入	60%以上	60%以上	60%以上



CO ₂ 総排出量								
完成工事高百万円あたり[実数]			評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)					
項目	2014年度 (基準年)	2021年度	2022年度					2023年度
	実績	実績	目標	実績	前年比	達成度	評価	目標
CO ₂ 総排出量	13.4 [71,496] kg-CO ₂	12.2 [36,223] kg-CO ₂	13.4 kg-CO ₂	14.7 [49,094] kg-CO ₂	+ 20%	91%	A	13.4 kg-CO ₂

中期目標			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
CO ₂ 総排出量	13.4 kg-CO ₂	13.4 kg-CO ₂	13.4 kg-CO ₂



水・紙・地域貢献・グリーン購入								
評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)								
項目	2014年度 (基準年)	2021年度	2022年度					2023年度
	実績	実績	目標	実績	前年比	達成度	評価	目標
GEO パワーシステム※1	12.5t-CO ₂	0t-CO ₂	5t-CO ₂	0t-CO ₂	±0%	0%	C	5t-CO ₂
水資源	764m ³	410m ³	400m ³	318m ³	− 22%	100%	A	400m ³
紙	176,000枚	144,500枚	150,000枚	112,500枚	− 22%	100%	A	145,000枚
グリーン購入※2	67.2%	45.3%	48%以上	32.0%	+ 29%	66%	B	48%以上
化学物質の 適正管理	ホルムアルデヒド発散建材材料の受入検査記録を 適正に管理しました。						A	適正管理

※1 ジグ・パイプ 7.5m = 5m×3本分(換算値) 5m(2本) = 1t-CO₂削減
※2 (グリーン購入) = (グリーン購入法対象数) ÷ (事務用品購入総数) × 100にて算出

中期目標			
項目	2024年度	2025年度	2026年度
GEO パワーシステム	5t-CO ₂	5t-CO ₂	5t-CO ₂
水資源	400m ³	400m ³	400m ³
紙	140,000枚	135,000枚	130,000枚
グリーン購入	48%以上	48%以上	48%以上
化学物質の 適正管理	適 正 管 理		

エコマーク商品を使用▶



◀各現場では専用倉庫
に施錠をして管理して
います

産業廃棄物の再資源化率

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)

項目	2014年度 (基準年)	2021年度	2022年度				2023年度
	実績	実績	排出量	目標	実績	評価	目標
アスファルトがら	100%	88.1%	125.34 t	99%以上	100%	A	99%以上
コンクリートがら	100%	88.1%	171.42 t	99%以上	100%	A	99%以上
建設発生木材	100%	100%	321.48t	95%以上	100%	A	95%以上
建設汚泥	100%	100%	0t	90%以上	—	—	90%以上
建設混合 廃棄物	100%	80.0%	165.62 t	60%以上	69.0%	A	60%以上



◀ 産業廃棄物に関しては混合廃棄物処理ではなく細かくフレコン等を使い分別し産業廃棄物を処理しています。



◀ 事務所でも 2020年11月より一般ごみの計量スタート！継続して実施しています。

2022年度事務所一般ごみ計量結果(kg)

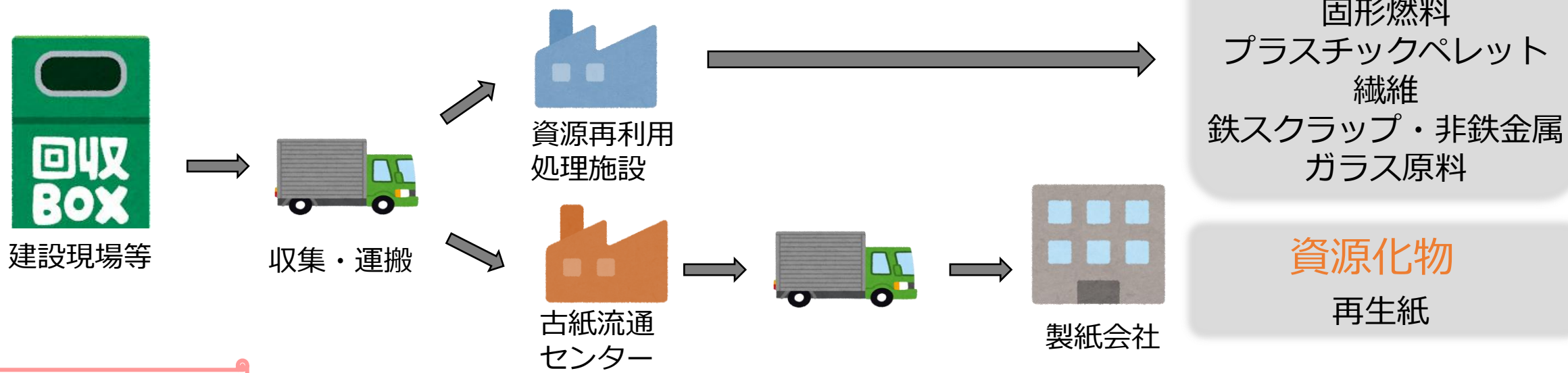
燃えるゴミ	519.1
シュレッダーゴミ	117.9
新聞・雑誌	287.2
段ボール	163.0
ペットボトル	68.0
缶	24.0



中期目標（再資源化率）

項目	2024年度	2025年度	2026年度
アスファルトがら	99%以上	99%以上	99%以上
コンクリートがら	99%以上	99%以上	99%以上
建設発生木材	97%以上	97%以上	97%以上
建設汚泥	90%以上	90%以上	90%以上
建設混合 廃棄物	63%以上	63%以上	63%以上

廃棄物リサイクルの流れ

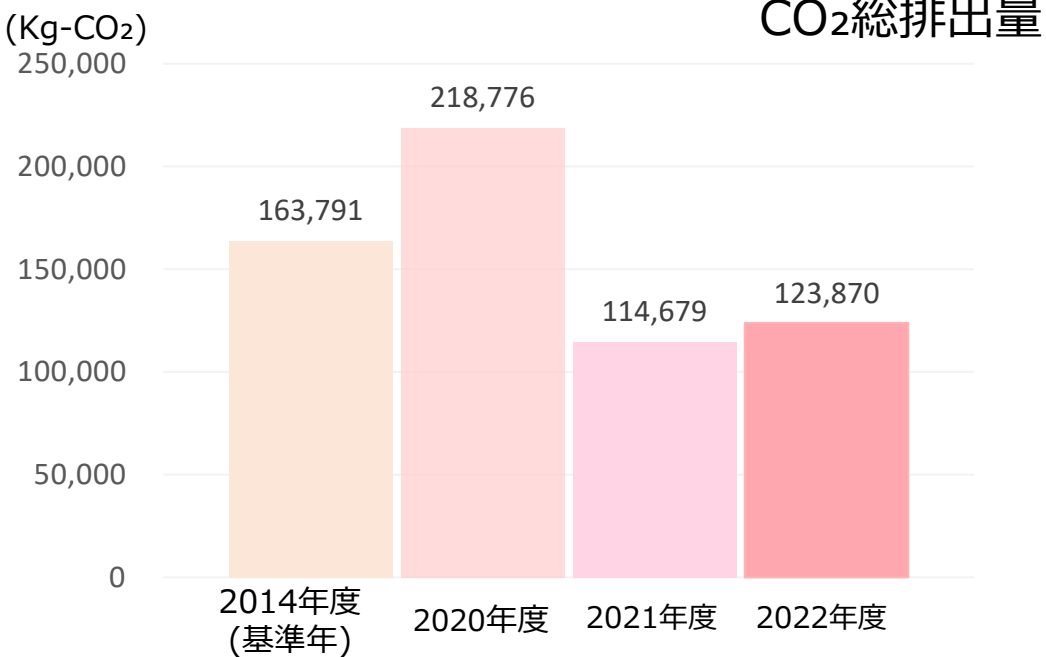


会社全体

CO₂総排出量

(完成工事高百万円あたり)

項目	2014年度 (基準年)	2021年度	2022年度
	実績	実績	実績
CO ₂ 総排出量	163,791 (30.7) kg-CO ₂	114,679 (38.5) kg-CO ₂	123,870 (37.1) kg-CO ₂



7. 2022年度環境経営計画の取組結果と評価

重点項目	主な取組み内容	評価	取組み結果
CO2排出量の削減	【事務所】 ・地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動 ・導入しているGEOパワーステムを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減 ・社有車を購入する際は燃費重視の車を選定 ・EV車の導入 ・太陽光発電によるEV車の充電利用 ・オンライン会議を積極的に利用し、移動による労働時間とCO2排出やエネルギーの削減 ・クールビズ、ウォームビズの実施 【現場】 ・冬場の暖房器具は室内温度20度を目標に調節する ・使用していない重機はエンジンを止め、CO2削減に努める	A	昨年に引き続きコロナ過のため、感染予防との両立が課題でしたが、今年度も目標を達成することができました。 また、昨年検討していましたEV車の導入を行い、EV車の充電は併設している太陽光パネル設置の体感ハウスからまかなうことで、再生利用エネルギーの促進化を図っております。
	【現場】 ・廃棄物管理票（マニフェスト）に基づき適正に処理する ・再生利用及び再生利用率を向上させる ・廃棄物の削減 ・リサイクル品の使用	A	
排出量の削減	【事務所・現場】 ・自動ストップ機能付きの水栓を利用し、出る水量を削減 ・蛇口の水圧を調整して、出る水の量を削減 ・蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起 ・水道施設がない場所では、水タンクを利用し、1日に使用する水量を決め、節水に努める	A	事務所、現場ともに前年度及び目標数値を下回る結果となりました。 現場は工事期間が長期的で2023年度の完成工事が多く、受注工事件数によっても左右されるため大幅な減少となりました。今後も事務所、現場ともに節水に努めていきます。
グリーン購入	【事務所】 ・事務用品等はEcoマーク製品を優先して購入する ・詰替え商品・リターナル容器入りを購入する（筆記用具・洗剤・テープ等） ・近隣挨拶時にはEcoバッグ・Eco商品を配付 ・設計において、グリーン購入法適合商品(省エネバブル・Ecoマーク・グリーンマーク)の材料・設備等を1物件2件以上提案し、環境配慮設計に努める 【現場】 ・文房具は持ち回りをし、詰め替え出来る商品を購入する ・購入担当者である本社総務課で商品を選定し、グリーンマーク商品を優先して購入する	B	事務所も現場も僅かですが目標達成が出来ませんでした。 事務所、現場ともに値段や品質、利便性、デザインだけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入するよう再確認し、グリーン購入の周知徹底に努めます。
	【現場】 ・古紙(新聞・雑誌・コピー用紙・カガキ等)の分別回収を行う ・ミッドリット用紙は裏紙として再利用 ・電子メディアを利用し、ペーパーレス化を推進	B	
資源の節約	【事務所・現場】 ・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援に充てる ・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪) 年2回の清掃活動を実施 ・年1回社員及び協力業者と施設を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア) ・創立記念日に本社構内で献血活動 ・フードドライブの参加 【現場】 ・現場事務所近隣の清掃活動を実施	A	紙の使用量は昨年度の実績枚数より事務所（前年比92.6%）、現場（前年比77.8%）、トータルで（前年比86.7%）削減し目標を達成することができました。今後もICTを活用し、ペーパーレス化を推進していきます。
地域貢献活動	【事務所・現場】 ・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援に充てる ・県道：熊本菊鹿線(中央区黒髪) 年2回の清掃活動を実施 ・年1回社員及び協力業者と施設を訪問し、清掃活動を実施(企業ボランティア) ・創立記念日に本社構内で献血活動 ・フードドライブの参加 【現場】 ・現場事務所近隣の清掃活動を実施	A	全社員が年2回以上の地域貢献活動参加を目標にしています。コロナ禍の中、企業ボランティアは活動施設数を絞り、感染予防に努め活動を行いました。また今回初めてフードドライブに参加しました。子ども食堂に行列ができています。役立てて頂ければ幸いです。現場においても週1回程度の近隣道路等の美化活動を行っており、今後も全社員一丸となって地域貢献を行っていきます。
化学物質の適正管理	【現場・合志倉庫】 ・ホルムアルデヒド発散建材の受入検査記録を適正に管理する。 ・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする ・保管庫は施錠し厳重に管理する ・4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底	A	ホルムアルデヒド発散建材の管理に関しては、内装及び塗装工事の使用材料を対象とし、使用材料がF☆☆☆☆の材料を適正に使用したかの記録を残しています。また、医療福祉施設等の竣工時には指定場所の化学物質濃度測定を実施しています。保管庫については内部監査時に確認し、適正管理が出来ていました。

※F☆☆☆☆…ホルムアルデヒドを発散する可能性がある材料に付される、発散量を示す等級の最上位規格

評価基準(A 90%以上・B 60%～89%・C 60%未満)



7-1. 2023年度環境経営計画の取組内容

重点項目	主な取組み内容
CO ₂ 排出量の削減	【事務所】 ・地中熱基礎空調及び省エネ改修工事の推進活動 ・導入しているGEOパワースystemを活用し、冷暖房の空調負荷を軽減 ・社有車を購入する際は燃費重視の車を選定、EV車の導入検討 ・社有車によるエコドライブ（エコ）の実施 ・ケルヒース、ウォルチースの実施 ・事務所改修時の環境配慮型及び木質化 【現場】 ・冬場の暖房器具は室内温度20度を目標に調節する ・Web会議促進による車両移動を減らし、CO₂削減に努める ・省エネ型・ハイブリッド型の建設機械の使用
産業廃棄物の削減	【現場】 ・廃棄物管理票（マニフェスト）に基づき適正に処理する ・再生利用及び再生利用率を向上させる ・廃棄物の削減 ・リサイクル品の使用
総排水量の削減	【事務所・現場】 ・自動ストップ機能付きの水栓を利用し、出る水量を削減 ・蛇口の水圧を調整して、出る水の量を削減 ・蛇口付近に節水シールを貼り、注意喚起 ・水道施設がない場所では、水タンクを利用し、1日に使用する水量を決め、節水に努める
グリーン購入	【事務所】 ・事務用品等はエコマーク製品を優先して購入する ・詰替え商品・リターナブル容器入りを購入する（筆記用具・洗剤・テープ等） ・近隣挨拶時にはエコバッグ・エコ商品を配付 ・設計において、デザインレビュー時と設計仕様書にグリーン購入法適合商品（省エネマーク・エコマーク・グリーンマーク）の材料・設備等を1物件2件以上提案を記載し、環境配慮設計に努める ・リサイクルゴミ袋の使用 【現場】 ・内装仕上がり材は、ホルムアルデヒド放散量の少ないF☆☆☆☆製品を使用する ・現場員は、再生PET繊維50%以上の作業服を着用
資源の節約	・古紙（新聞・雑誌・コピー用紙・カゴ等）の分別回収を行う ・ミッドリット用紙は裏紙として再利用 ・書面の電子化 ・ICTを活用し、ペーパーレス化・業務効率化に努める
地域貢献活動	【事務所・現場】 ・ペットボトルのキャップを回収し、障がい者支援・途上国支援に充てる ・県道：熊本菊鹿線（中央区黒髪）年2回の清掃活動を実施 ・年1回社員及び協力業者と施設を訪問し、清掃活動を実施（企業ボランティア） ・創立記念日に本社構内で献血活動 ・募金式自動販売機設置 ・建築協会の清掃・献血活動への参加 ・社員及び協力業者によるボランティアの実施 ・フードドライブの参加 【現場】 ・現場事務所近隣の清掃活動を実施 ・災害時ボランティア活動を実施
化学物質の適正管理	【現場・合志倉庫】 ・ホルムアルデヒド発散建材の受入検査記録を適正に管理する。 ・保管庫の表には「火気厳禁」の表示、中には「物質の分類・量」を表示して明確にする ・保管庫は施錠し厳重に管理する ・4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底

主な環境法規制等	届出、作業等	遵 守 事 項
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	委託基準 1.委託先の許可確認 2.委託契約の締結 3.契約書の5年間保存 マニフェストの交付 1.交付義務 2.回収・照合(発行後B2,D票90日、E票180日以内) 3.保管(5年間) 未回収戻り票の報告 「交付状況報告」
	廃棄物の処理	積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示板設置
	特別管理産業廃棄物管理責任者、排出事業所、排出報告の届出、多量排出事業者計画届出	知事・市長へ届出 (届出期間、様式は条例等規定)
建設 リサイクル法	・解体工事-80㎡以上 ・新築・増築工事-500㎡以上 ・修繕・模様替工事-1億円以上 ・その他の工作物に関する工事(土木工事等)-500万円以上	・発注者への書面による計画等説明・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届出、発注者へ書面による完了報告 ・分別解体等 ・再資源化等の促進 ・再生資源の使用
騒音規制法	杭打ち機、ブレーカー、空気圧縮機等を使用する作業	・知事へ7日前までに届出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下
振動規制法	杭打ち機、杭抜き機、ブレーカー、舗装版破碎機を使用する作業	・知事へ7日前までに届出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下
下水道法	公共下水道への排水	・公共下水道管理者にあらかじめ届出 ・排水基準(有害物質は排水基準を定める総理府令)、生活環境項目については、条例による。
フロン排出抑制法(特定解体工事元請業者が特定解体工事発注者に交付する書面に記載する事項を定める省令) 平成27年4月施行	業務用冷凍空調機器の管理者による冷房管理 解体工事(改修工事)	・全ての第1種特定製品を対象とした簡易点検の実施(3カ月に1回以上) ・一定の第1種特定製品について、専門知識を有する者による定期点検の実施(7.5kW以上の冷凍冷蔵機器：1年に1回以上 50kW以上の空調機器：1年に1回以上 7.5～50kWの空調機器：3年に1回以上 ・解体前に70ノ類機器設置有無を確認、発注者に書面説明 ・第1種特定製品管理者は当該フロン類機器を第1種70ノ類充填回収業者に引き渡さなければならない ・機器の廃棄を委託された場合「委託確認書」の回付と保存及び70ノ類充填回収業者の「引取証明書」の受理と写しの保存(3年間) (平成19年10月1日施行)
建築物省エネ法	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	・適合性判定：確認済証発行前(非住宅2,000㎡以上) ・届出：工事着手予定の21日前(300㎡以上) ・認定：工事着手の前まで(認定基準を満たすこと)
改正石綿障害 予防規則	石綿(アスベスト)含有の有無の事前調査 ・解体部分の延床面積-80㎡以上 ・改修工事の請負金額-100万円以上	元請業者の責務 ・協力業者(関係請負人)が法令に違反しないよう必要な指導 ・作業間の連絡調整、作業場所の巡視 ・協力業者が行う労働者の安全衛生教育に対する指導・援助

9 . 建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規制の遵守状況をチェックしたところ、違反は有りませんでした。
また、現時点まで関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟についても問題ありません。

10. G E O パワーシステム

Geothermal …地中熱利用

Economical …エコで経済的

Oasis …癒しとくつろぎ

G E O パワーシステムは、私たちの足元にある自然エネルギー「地中熱」を利用し基礎空調を行う24時間計画換気システムです。

つまり、冷暖房のように急激に温度を調節するのではなく、換気をしながら建物全体をゆるやかに調整し冷暖房の空調負荷を軽減します。

→ 地中熱とは？

大地は巨大な蓄熱層。1年を通して昼夜繰り返される、太陽による蓄熱と夜間冷氣による放熱により、地中内の温度はその地域の平均気温とほぼ同じ温度になります。G E O パワーシステムが利用するのは、地下約5～7.5mの温度。外気と違い温度変化が少なく、夏にほんのり涼しい、冬にはほんのり暖かい熱が蓄熱されています。



グリ石



ジオパワーシステムは
地球(人類)に貢献しています。



住宅にジオパワーシステムを導入すると、1年間あたり、約1トンのCO₂の削減となります。すなわち杉の木72本分の植林と同等の削減をしていることになります。

お客様の声

春 花粉症が和らぎました。

エアコンとは違う自然な
涼しさです。

秋 子どもが熟睡するようになりました。

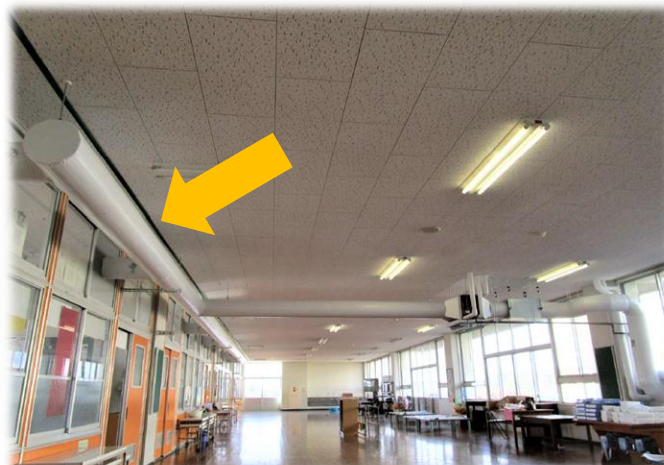
温度差を感じなく
なりました。

夏

冬

施工例

教育現場でも
採用されて
います。



床下換気口をなくし、こぶし大のグリ石を床下いっぱい敷き詰めています。グリ石層（碎石蓄熱層）は表面積がコンクリート床の何十倍にも相当し、非常に蓄熱（蓄冷）効果があります。



↑ GEO吹出口 ↓



事務所内でもジオパワーシステムで地中熱を利用し、自社の省エネ化を進めています。



11. 年間行事 (2022.4～2023.3)

創立記念献血



2022.5.19



76名の方に
ご協力頂きました



3

すべての人に
健康と福祉を



防災訓練

2022.6.8
〈河川氾濫〉

室園倉庫にて、バルーン照明機、発電機、水中ポンプの
研修、土のう作り、土のう積みの訓練を実施しました。



土のう作り



バルーン照明



食料備蓄品の賞味期限・在
庫数の確認や、災害備蓄室
にある物品の使用期限確認
も行っています。

また、9/8には、
地震を想定した防災訓練も
実施しています。

▲工事現場・災害現
場で夜間用の照明と
して活躍するバルー
ン型の投光器です。



白川が氾濫の危険があると
仮定し、防災訓練を実施し
ました。
LINEにて、災害対策ブロッ
クごとにグループを作成し、
グループにて安否確認を
行っています。
また、Biz安否確認というア
プリを利用し、現場状況の
写真を撮り状況を報告して
います。

Teams

現場の状況を確認中



ハザードマップ

ハザードマップで、洪水時の円滑か
つ迅速な避難確保の為、浸水を防止
し、水害による被害の軽減を図る為、
確認を行っています。▼



安全大会

2022.6.21

(一社)熊本県建築協会主催の
第35回安全大会へ社員19名、協力
会社33名が参加しました。
今後も安全な労働環境の整備に協力
会社と共に努めていきます。
また、3つの演題による安全衛生講
話では健康に関する脳梗塞のお話も
あり、大変勉強になりました。



健康づくりにチャレンジ！
～脳梗塞のお話～

全国健康保険協会
協会けんぽ
熊本支部
<http://www.kyokaikenpo.or.jp/>

令和4年6月21日(水)



EA21中間審査 2022.8.8～8.9



審査員より新たな評価と提案事項をいただきました。審査後は反省会議を行い、今後の改善点について話合っています。



美化ボランティア

春と冬、年に2回
近隣の道路清掃を行い、
地域環境の保護に努めています。



2023.1.28



安全週間 2022.7.1～7.7

7月1日(金) 趣旨徹底の日
安全祈願祭
7月2日(土) 休養の日
7月3日(日) 安全の日
7月4日(月) 総点検の日
7月5日(火) 安全パトロールの日
7月6日(水) 安全教育の日
7月7日(水) 反省の日



清掃活動中は社員同士でコ
ミュニケーションをとる良
い機会となっています。

2022.5.28



安全祈願祭



工事用機械点検・整備の実施



合同安全パトロール



教育の実施
(熱中症・ヒヤリハット)

インターンシップ

当社では、高校生・専門学生・大学生のインターンシップの
受け入れを年5回行っています。



KY
活動



内装
工事体験



塗装
体験



衛生週間

2022.10.1～10.7

- 10月1日(土) 趣旨徹底の日
- 10月2日(日) 休養・家族健康の日
- 10月3日(月) 労働衛生に関する
研修会・講習会等の日
- 10月4日(火) 衛生パトロールの日
- 10月5日(水) 避難・救護訓練の日
健康診断の日
- 10月6日(木) 総点検の日
- 10月7日(金) 反省の日

衛生講話の参加(リモート)



血圧測定



消防訓練

2022.11.9

火災発生時、安全に避難できるよう
消防署の方に来ていただき、
ビルの関係者全員で消防訓練に参加
しています。



火元確認
↓
初期消火
↓
119通報
館内非常放送
↓
避難誘導
↓
避難完了

7分



←
はしご車で屋上からの
避難体験をしています。

←
水消火器の訓練



建築の日

2022.11.11

毎年11月11日の「公共建築の日」に、社会貢献活動の一環として熊本県建築協会の主催により、公共公園のトイレ清掃と献血活動を実施しています。



若手社員も一生懸命
清掃しています。



豆知識

11月11日が公共建築の日となった由来は建築の基本的構造を象徴する4本の柱のイメージと、国会議事堂の完成年月である昭和11年11月に因んだからとのこと
です。

6 安全な水とトイレ
を世界中に



11 住み続けられる
まちづくりを



また、熊本県建設会館にて
献血活動も行われました。

企業ボランティア

2022.11.12

昨年度に引続き、新型コロナウイルスの影響により、3箇所而建吉組社員のみの規模縮小での実施となりましたが、各施設にて窓ふきや草刈り、球根の植え付け等を行い無事に終了致しました。



31回目!

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



法令講習

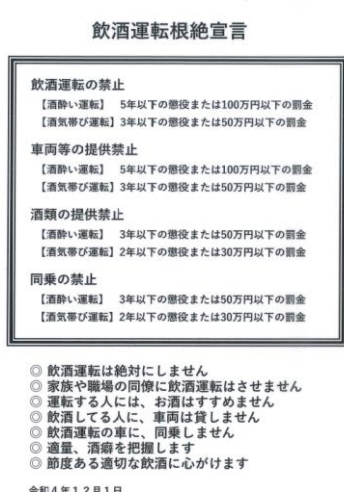
2022.12.1

今回は熊本中央警察署交通第一課の方を講師にお招きし、下記のテーマに沿って講話を頂きました。

- ①県内の交通事故情勢
- ②かもしれない運転
- ③安全呼称のすすめ
- ④横断歩行者の保護
- ⑤ライトの早め点灯
- ⑥飲酒運転
- ⑦安全運転管理者の業務



今回も「飲酒運転根絶宣言」を行いました。交通安全等に気を付けて安全運転をより意識していきます。



第15回エコアクション21環境経営(活動)レポート大賞・九州

九州地方環境事務所長
特別賞 受賞

祝

3
回目の受賞



2022.12.16

12月16日に表彰式が行われ、九州地方環境事務所長特別賞を受賞しました。選定理由として「活動経過や評価が可視化され分かりやすく取組が紹介されている」とお褒めの言葉を頂きました。今後もSDGsとともに脱炭素社会へむけて、当社でより良い取組を行っていきます。

12. SDGsの取組み

SDGsへの取組み

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月国連サミットで採択されたもの

▶国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた行動指針、先進国と途上国が取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標

▶17のグローバル目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲット、232の指標で構成されている

当社としても環境活動を中心に積極的に取り組んでいます。

バッジ装着



2018年に国からSDGs未来都市に選定された熊本県小国町の【阿蘇小国杉】を採用しています。



熊本市SDGs登録制度

2021.8.25 第1期登録

・・・熊本県では、SDGsに積極的に取り組む企業や団体等を後押しし、県内におけるSDGsの取組みの裾野を広げるため登録制度が創設。

当社は、第1期事業社として登録されました。

登録企業として、SDGsをより意識して

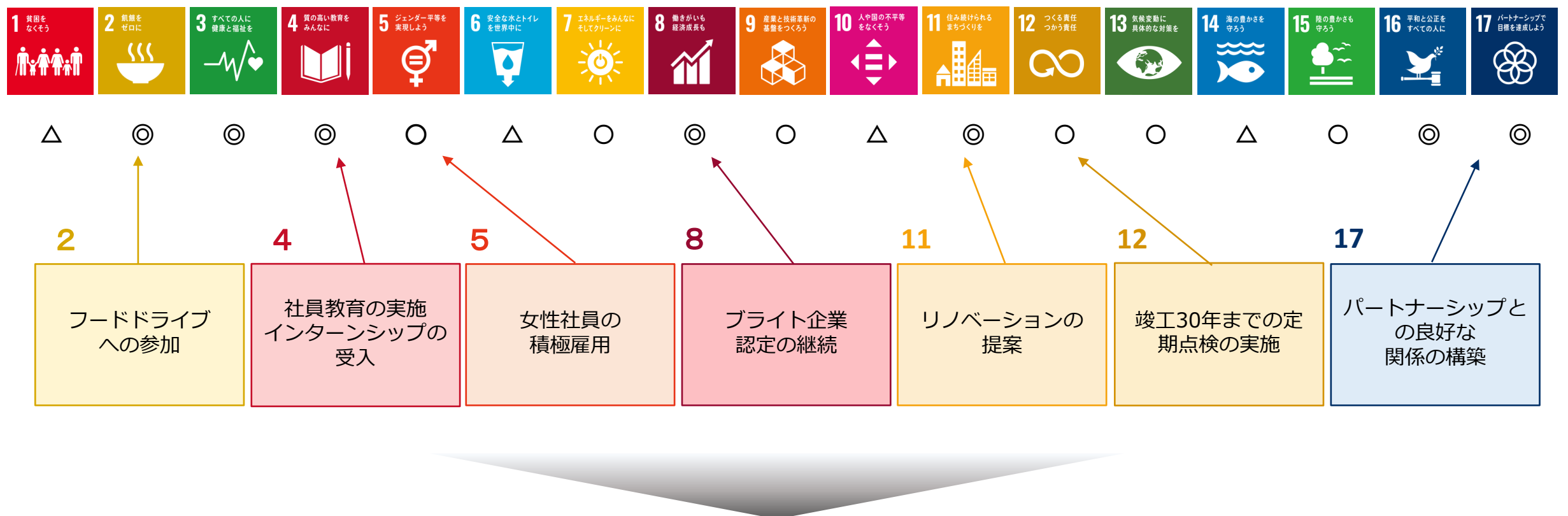
取り組んでいけるように頑張ります！



2021.10.29 登録証交付式



過去の実施の振り返りと現在の実施の紐づけ作業



優先取り組み事項の決定



当社では、下記の内容を重視し、取り組んでいます。



(主な内容)

SDG 1: 貧困をなくそう

貧困をなくそう

- ・ペットボトルキャップの回収
- ・寄付による支援活動

(主な内容)

SDG 7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに

エネルギーをみんなにクリーンに

- ・再生可能エネルギーの利用 (地中換気システム)
- ・電気自動車の導入

(主な内容)

SDG 13: 気候変動に具体的な対策を

気候変動に具体的な対策を

- ・早期からの熱中症対策
- ・BCPマニュアルで災害対応
- ・電気紐

SDG 2: 飢餓をゼロに

飢餓をゼロに

- ・3010運動の実施
- ・フードドライブへの参加

SDG 8: 働きがいも経済成長も

働きがいも経済成長も

- ・エンゲージメント向上
- ・ブライト企業認定の継続

SDG 14: 海の豊かさを守ろう

海の豊かさを守ろう

- ・使い捨てプラスチックの削減
- ・マイボトル・エコバックの推奨

SDG 3: すべての人に健康と福祉を

すべての人に健康と福祉を

- ・健康経営優良法人認定の継続
- ・新型コロナウイルスへの対応
- ・使用済み切手の回収

SDG 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業と技術革新の基盤をつくろう

- ・ICTを活用した施工管理
- ・BIM・VRなど最先端技術の活用

SDG 15: 陸の豊かさを守ろう

陸の豊かさを守ろう

- ・建築材料の地産地消
- ・自然素材の利用

SDG 4: 質の高い教育をみんなに

質の高い教育をみんなに

- ・社員教育の実施
- ・インターンシップの受入

SDG 10: 人や国の不平等をなくそう

人や国の不平等をなくそう

- ・ユニバーサルデザインの採用
- ・ベテラン社員の長期雇用

SDG 16: 平和と公正をすべての人に

平和と公正をすべての人に

- ・コンプライアンス遵守の取組み
- ・各種認証認定の取得

SDG 5: ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を実現しよう

- ・女性社員の積極雇用
- ・外国人労働者への雇用環境

SDG 11: 住み続けられるまちづくりを

住み続けられるまちづくりを

- ・リノベーションの提案
- ・防災訓練

SDG 17: パートナースhipで目標を達成しよう

パートナーシップで目標を達成

- ・自治体との連携
- ・パートナーシップとの良好な関係

SDG 6: 安全な水とトイレを世界中に

安全な水とトイレを世界中に

- ・事業所内節水への取組み
- ・くまもと地下水財団登録

SDG 12: つくる責任 つかう責任

つくる責任 つかう責任

- ・建設時のCO2の削減
- ・建物カルテで定期点検の実施

TATEYOSI
corporation

13. 会社の取組み

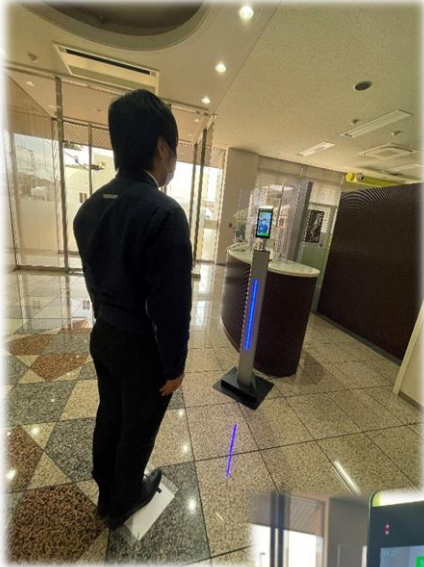
[新型コロナウイルス感染症対策]

当社では、事務所・現場ともに新型コロナウイルス対策をしています。
 人との接触機会を減らすことやソーシャルディスタンスを保つなど感染防止策の徹底をし、ニューノーマル(※)な働き方を実施しています。

※ニューノーマル…社会や経済に影響を与える出来事によって変化した、新しい常識や常態のこと



防護パネルの設置



非接触体温計



非接触アルコール消毒



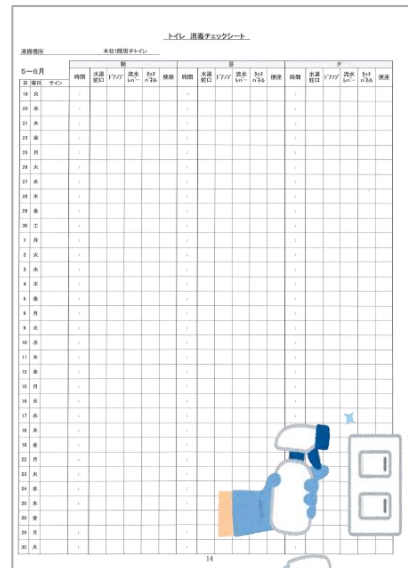
非接触ドアノブ



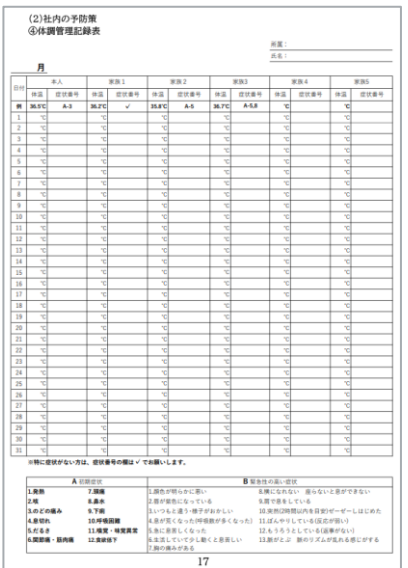
事務所内防護パネル



▼自動水栓化
2021.4～



トイレ・事務所の消毒
チェックシート(朝・昼・夕)



体温管理記録表

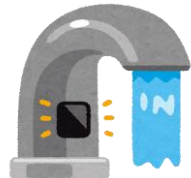
現場編



朝礼時の間隔確保



体温測定の実施



貼
り
紙
設
置

アルコール消毒液と
うがい薬



対策垂れ幕設置



送風機を稼働し、換気を推進

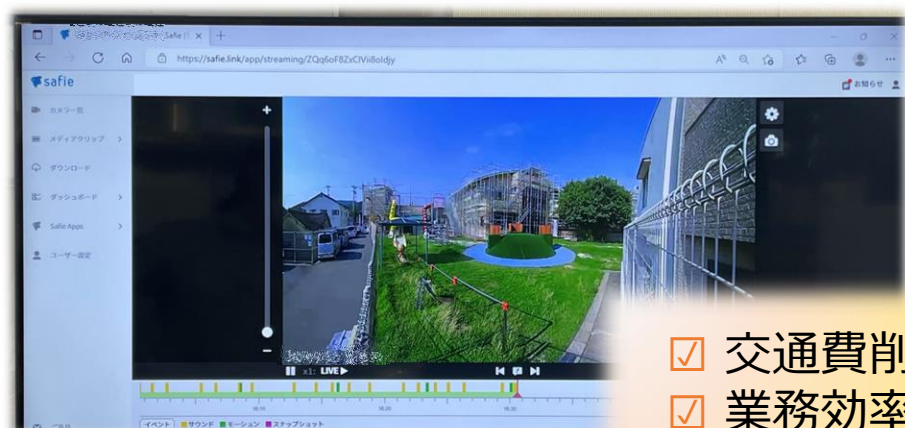


机の消毒



○クラウド動画サービス(safie)

パソコンやスマートフォンでいつでもどこでもインターネットで映像が見られる防犯カメラです。録画機能もあります。 2020.1～



- ☑ 交通費削減
- ☑ 業務効率化

○Web請求書クラウドシステム (BtoBプラットフォーム)

2021.6～

社内間また取引先との請求書のやり取り(発行・受取)を、デジタルデータで行うWeb請求書クラウドシステムです。

- ☑ ペーパーレス化
- ☑ コスト削減
- ☑ 業務効率化

○電子決裁サービス (Shachihata Cloud)

2021.10～

紙で行っていたワークフローを運用を変えることなくデジタル化できるクラウドの電子決裁サービスです。クラウド上で押印を回覧。主に社内で活用しています。

- ☑ ペーパーレス化
- ☑ 業務効率化

○電子申請

2021.6～

これまで紙の文書で行ってきた申請や届出などの行政手続を、パソコンからインターネット経由で行っています。各部で活用しています。



- ☑ 交通費削減
- ☑ 業務効率化
- ☑ ペーパーレス化

○電子マニフェスト (e-reverse.com)

2021.5～

運搬業者がマニフェスト作成を代行し、排出事業者様は承認するだけ。紙マニフェストの一元管理機能や、m³→t換算、排出事業場ごとの集計や、電子処理委託契約、多量排出行政報告支援サービスとのデータ連携等を行っています。また登録されたマニフェストデータはJWNETに5年間保管されるので、保管スペースの確保は不要です。

- ☑ ペーパーレス化
- ☑ 交通費削減
- ☑ 多量排出事業者行政報告 削減

○360°カメラ

(RICOH360 Projects)

2021.11～

建設現場の状況をRICOHの360°画像で撮影・整理・共有することで、従事者間のコミュニケーションと働き方を変えていくクラウドサービス。360°画像で、その場にはいない人にも現場の状況を的確に伝えます。

- ☑ 作業者の効率向上
- ☑ 交通費削減
- ☑ 業務効率化

○Buildee

2023.2～

2023年2月より導入。調整会議、労務安全、入退場管理の3つのシステムとなっています。労務安全書類を初めシステム内で帳票の作成や受け渡しを行うことで、ペーパーレス化及び業務効率化が期待されます。

- ☑ ペーパーレス化
- ☑ 業務効率化

[寄付金]



当社では、様々な団体・法人へ寄付をしています。

- ・いのちの電話 自動販売機設置
- ・日本肢体不自由児協会 物品購入協力
- ・加藤神社 創建150年記念・熊本地震復興事業「令和の大造営」
- ・更生保護法人 熊本県更生保護協会への協力

[電気スイッチ紐]



昨年度の更新審査の際、審査員よりお褒めの言葉を頂いた“スイッチ紐”になります。当社ビルが創建以来、継続してスイッチ紐の活用を行っています。



[エコキャップ]

2022.12.23

年に一度、ペットボトルのキャップを集めて、CO₂削減や雇用創出、子どものワクチン支援など様々な活動に参加しています。

今回提供個数：6,665個



[切手回収]

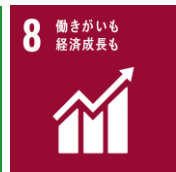
2023.1.12

災害被害者への義援金や福祉・介護用品の贈呈など様々な場所で払い出しがされます。

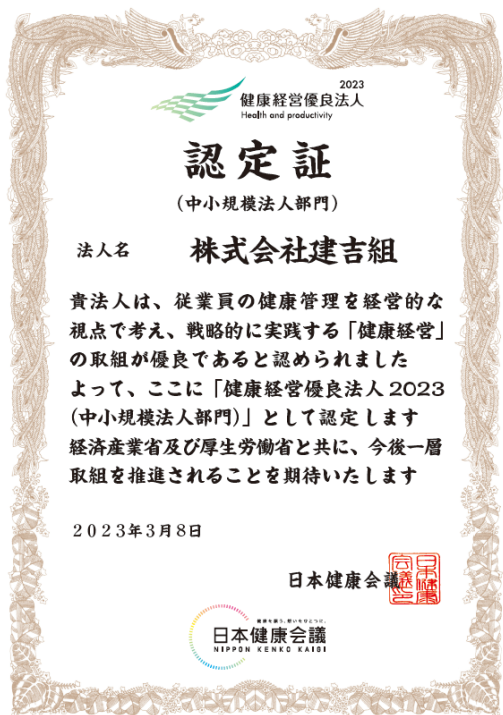
今回提供数：200g(約1000枚)



[健康経営優良法人]



2023年3月8日に、健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)の認定を受けました。健康経営優良法人の認定としては2018年より継続して5回目の認定となります。



▼認定基準

- 1 経営理念（経営者の自覚）
- 2 組織体制
- 3 制度・施策実行
- 4 評価・改善
- 5 法令遵守・リスクマネジメント

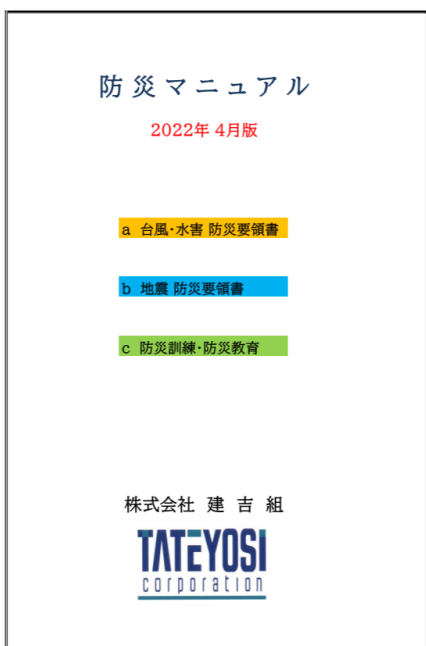
2021年度より、定期健診に歯科健診を加え、歯周病予防にも力を入れています。数年ぶりに検査を受けたという社員もあり、良いきっかけになりました。



[事業継続力強化計画認定]

事業継続力強化計画認定制度とは…

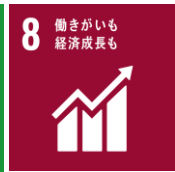
中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度です。



当社では月に一度、BCP委員会を開催し、自然災害時に備え、防災マニュアルの作成や社員連絡網の確認、防災訓練の計画等を行っています。



[ブライト企業]



2022年10月11日に、2022年ブライト企業認定証交付式において認定証を授与されました。今後も、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業として、県内の労働力確保、就職促進につなげるため、労働環境や処遇の向上に優れた取り組みを進めて参ります。



[健康づくりセミナー]

2023.2.8



社員に答えていただいたアンケートより、関心の高かった「お口の健康」と「肩こり腰痛予防」をテーマに、外部講師をお招きしセミナーを開催しました。

実際に参加者全員でストレッチを体験をしました。日頃伸ばさない筋肉が伸び体が軽くなりました。

▼「肩こり腰痛予防」セミナー



▲「お口の健康」セミナー



[フードドライブ]

フードドライブとは…

家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。



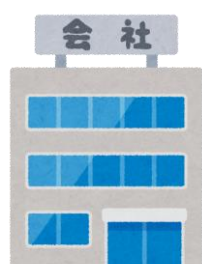
10月の食品ロス削減月間に熊本県でフードドライブが実施され当社も参加しました！

当社社員、ビルのテナント様にもお声がけし、9/14～10/3の回収期間で

34kgの食品が集まりました。



家庭で余っている食べ物



職場へ持ち寄る



フードバンクへ寄付



こども食堂へ配布



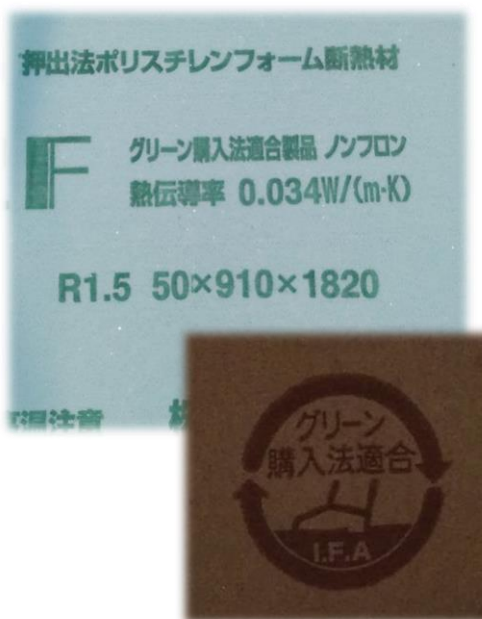
現場編

[環境保全対策]



● 在来型枠とシステム型枠の併用

併用により木材の使用量が大幅に減り、省資源化が図れます。また、全ての材料が100%マテリアルリサイクル(廃プラスチックから新たな製品を作ること)が可能で産業廃棄物の削減へ繋がっています。



● グリーン購入法適合製品の使用



● 低VOC塗料の使用



● 排出ガス対策建設機械



● グリーンカーテン

[社会貢献]



◀ 自販機手数料の一部を寄付しています。

● 募金式自動販売機

[ユニバーサルデザイン]



英語、中国語、韓国語に対応しております。

● 多言語対応標識



[女性の活躍推進]



各現場に鍵付きの女性用トイレを設置しています。

● 女性用トイレ

[熱中症対策]



他にも、日除けテントや製氷機を設置しています。



● 屋外休憩所ミスト



● シャワーヘッド



● ウォーターサーバー



● 熱中症指数計



● 扇風機



● 熱中症対策キット



● 塩飴

14. 2023年度の各部目標

総務部

- ・エコマーク及びグリーンマーク商品の購入60%以上
- ・建築分野のICT導入実績 2件
- ・協力会社へのSDGs・ESG支援 2回
- ・環境法規制違反 0件



営業課

- ・顧客、設計事務所へのGEOパワーシステムのPR
- ・木造建築物の提案
- ・新築する物件へのZEB・ZEH提案
- ・営業活動時のエコドライブの推進



積算課

- ・環境汚染・水質汚濁対策費用の計上漏れ 0件
- ・資材確保に関するクレーム 0件
- ・GX・ZEB・ZEH理解度促進
- ・時間外労働時間の削減 月平均20時間以内



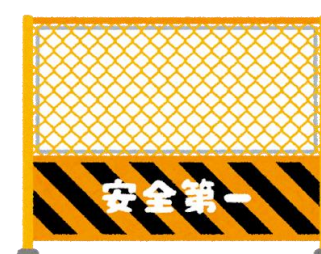
設計課

- ・環境法令、条例順守
- ・木造木質化提案
- ・ウィルス対策商品提案
- ・Teams、Web申請、BIM提案による業務効率化



建築部

- ・現場周辺の清掃活動 月1回
- ・募金式自動販売機設置 100%
- ・新規入場者教育、災防協でのSDGs・ESG周知 100%
- ・効率的な運搬車両運営(CO2削減・稼働時間制御) 100%



15. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体の評価

2022年度環境経営計画の取組結果として目標は、ほとんど達成することが出来ました。その中でグリーン購入について本社及び現場で目標達成が出来なかったため、次年度は環境配慮の商品や資材の使用について再度検討を行い、目標達成へ繋げたいと思います。また、コロナ過が続いた1年で、感染予防との両立も課題でしたが、ペーパーレス化や節電等により社員一人一人の意識も高まってきており、CO2の排出量等は昨年に引き続き目標を達成することが出来ております。

2022年12月には九州環境カウンセラー協会より「九州地方環境事務所長特別賞」を3年連続で受賞致しました。その際に弊社の事例発表も行ったことで、自社の取組の再確認及び課題を改めて感じました。

SDGsについては2030年までの目標で、2050年までの目標である脱炭素・カーボンニュートラルに目を向け、地方ゼネコンとしての取組を推進していきたいと思います。また自社だけでなく協力会社への情報発信や周知を行うことで、地域における主導的な役割を果たす企業として努めていきます。

全体の見直し

No.	項 目	有無	見直し事項
1	事業概要	有	完工高、社員数の変更、認証登録範囲の追加
2	組織概要・対象範囲	有	福岡支店の表示場所変更
3	課題とチャンス	有	内容変更
4	環境経営方針	無	
5	環境活動の実施体制（2022年度・2023年度）	有	福岡支店の表示場所変更
6	環境への負荷実績・環境経営目標	有	表示形式、中期目標の変更
7	2022年度環境経営計画の取組内容	有	取組内容追加
8	環境法規制遵守チェックリスト	有	改正石綿障害予防規則追加
9	建設に係る環境関連法規への違反、訴訟等の有無	無	
10	G E Oパワーシステム	有	内容変更
11	年間行事	有	内容変更
12	S D G sの取組み	有	マッピングの内容変更
13	会社の取組み	有	内容変更
14	2023年度の各部目標	有	各部目標見直し

2023年7月28日

株式会社 建 吉 組

代表取締役

世原 健嗣



株式会社 建吉組

〒860-0863

熊本市中央区坪井6丁目38番15号

TEL 096-343-1111

FAX 096-345-6711

<https://www.tateyosi.co.jp>